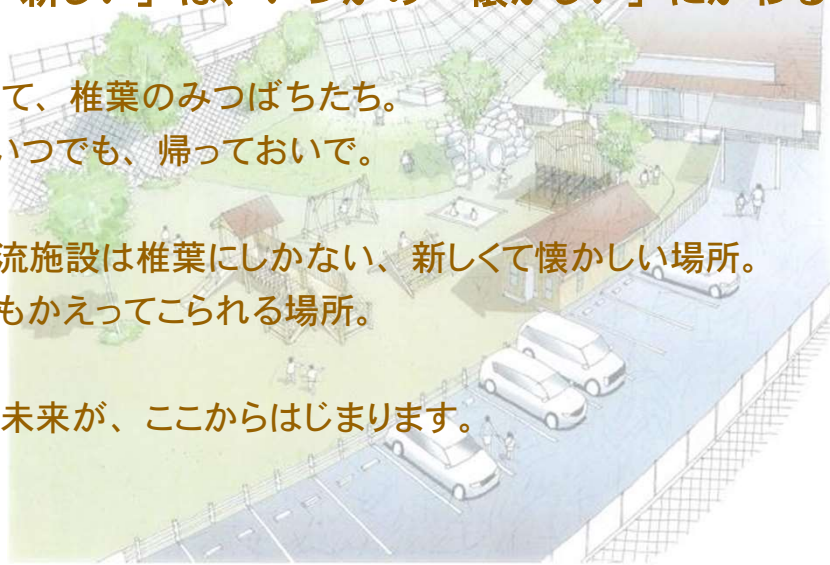


子どもたちにとって、
今の「新しい」は、いつかの「懐かしい」にかわるから。

飛び立て、椎葉のみつばちたち。
そしていつでも、帰っておいで。

この交流施設は椎葉にしかない、新しくて懐かしい場所。
いつでもかえってこられる場所。

椎葉の未来が、ここからはじまります。

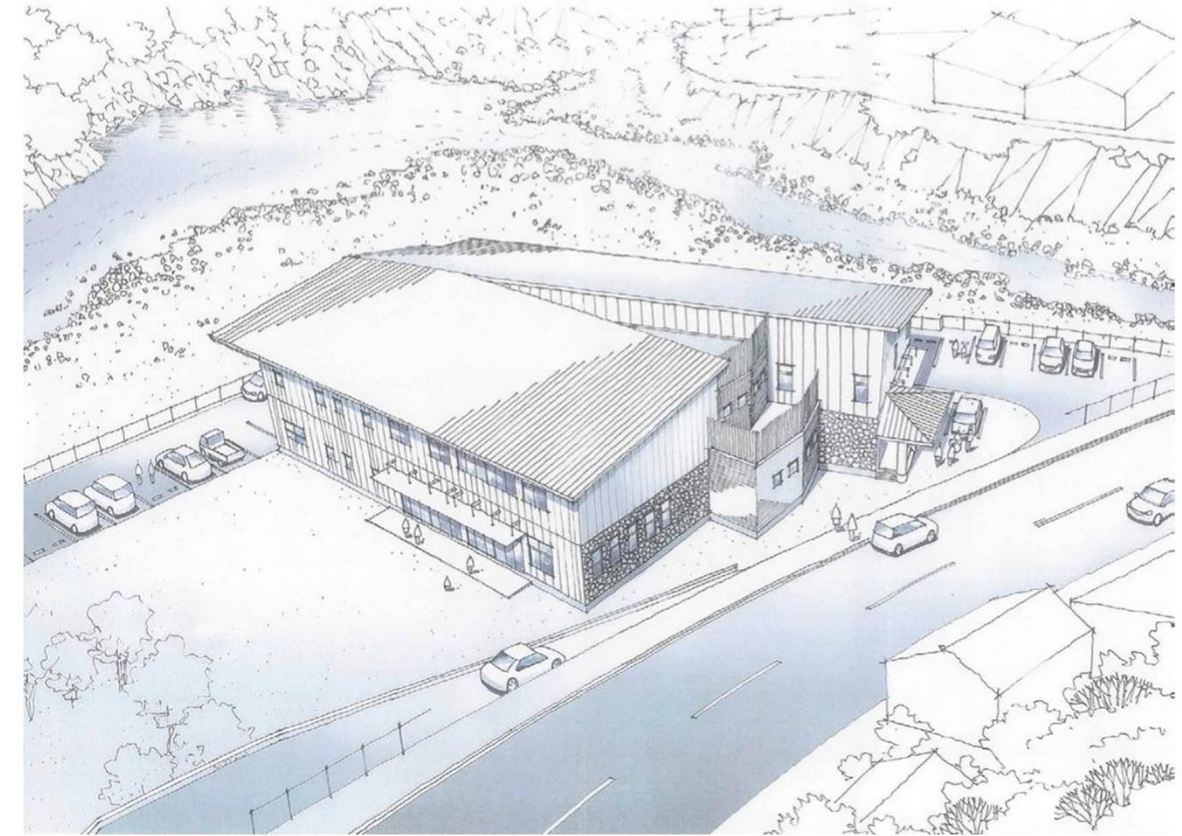


椎葉村交流拠点施設の愛称を募集します!

新しい交流拠点施設は、2020年の夏にオープンする予定です。
この施設が愛される場となるように愛称を募集します。
施設に込める思いを元に良い名前を考えていただき、多くの応募をお待ちしております。

- 賞 最優秀賞 1点
(団体の場合は賞金8万円、個人の場合は賞金5万円)
- 応募方法 椎葉村ホームページの募集ページ、もしくは10月初旬発送の組合長行き文書をご覧ください。
応募用紙は役場の地域振興課にてお渡しできます。
- 応募締め切り 令和元年11月15日(金)
- 問い合わせ先 椎葉村地域振興課
TEL 0982-67-3203
無料 767-0031

椎葉の未来が、ここからはじまる。 新しい交流拠点施設ができます。



新しい交流施設は大人たちが集まる場所、
そして、椎葉を訪れる人たちとの出会いの場でもあります。
そして何より、いつも子どもたちの笑い声があふれている場所です。
子どもたちはまるで、椎葉の日本みつばち。

気にいってもらえる巣箱をつくらないと、
日本みつばちは巣箱に入ってくれません。
そのかわり一度気に入ったら、巣箱が同じ場所にあるかぎり、
きつとかえってきてくれます。

日本みつばちは椎葉の山に咲く花の蜜を味わい、
その蜜は美しく味わい豊かな蜂蜜になります。
子どもたちにもこの場所で、
何冊もの本を味わってほしい。
新しいものづくりを知ってほしい。
新しいはたらきかたを知ってほしい。
そしてここに集まる椎葉の大人たちや椎葉を訪れる人たちと、
新しい出会いを経験してほしい。



新しい施設で出来ること、どんどん起こる楽しいこと。

今後世界は、高速通信やテクノロジーの進化が進み、都会と地方での地域間格差がどんどん無くなる時代へと進んでいきます。

私たちは都会から遠く離れた椎葉村に住みながら、技術の進んだ時代の恩恵を十分に受けつつ、椎葉に残されてきた自然や伝統と共存する心豊かな生活を送ることができます。

ここはまさに、そんな椎葉の未来を形にする施設です。「ONLY ONE Shiiba」という世界をリードする村を創り、一度は椎葉村を離れる子ども達が、再び帰ってきたいと思える、ミツバチの巣箱のような場所になりたいと思っています。

生涯学習など趣味の活動や会議など、多様な使い方が可能なスペースです。音楽やダンス、映画観賞など様々な楽しみ方が出来る環境づくりを目指しています。

会議や打ち合わせに便利な小型会議室、勉強や仕事も出来ます。半個室の空間で WiFi 完備なので、ウェブ会議なども可能です。会議室として使用されていない時は卓球も楽しめるなど色々な使い方を想定しています。

村内外の人がちょっと汗を流したい時に使えます。入浴施設がない椎葉村で観光客や、仕事帰りの人、部活帰りの中学生などもスッキリして施設を利用いただけます。

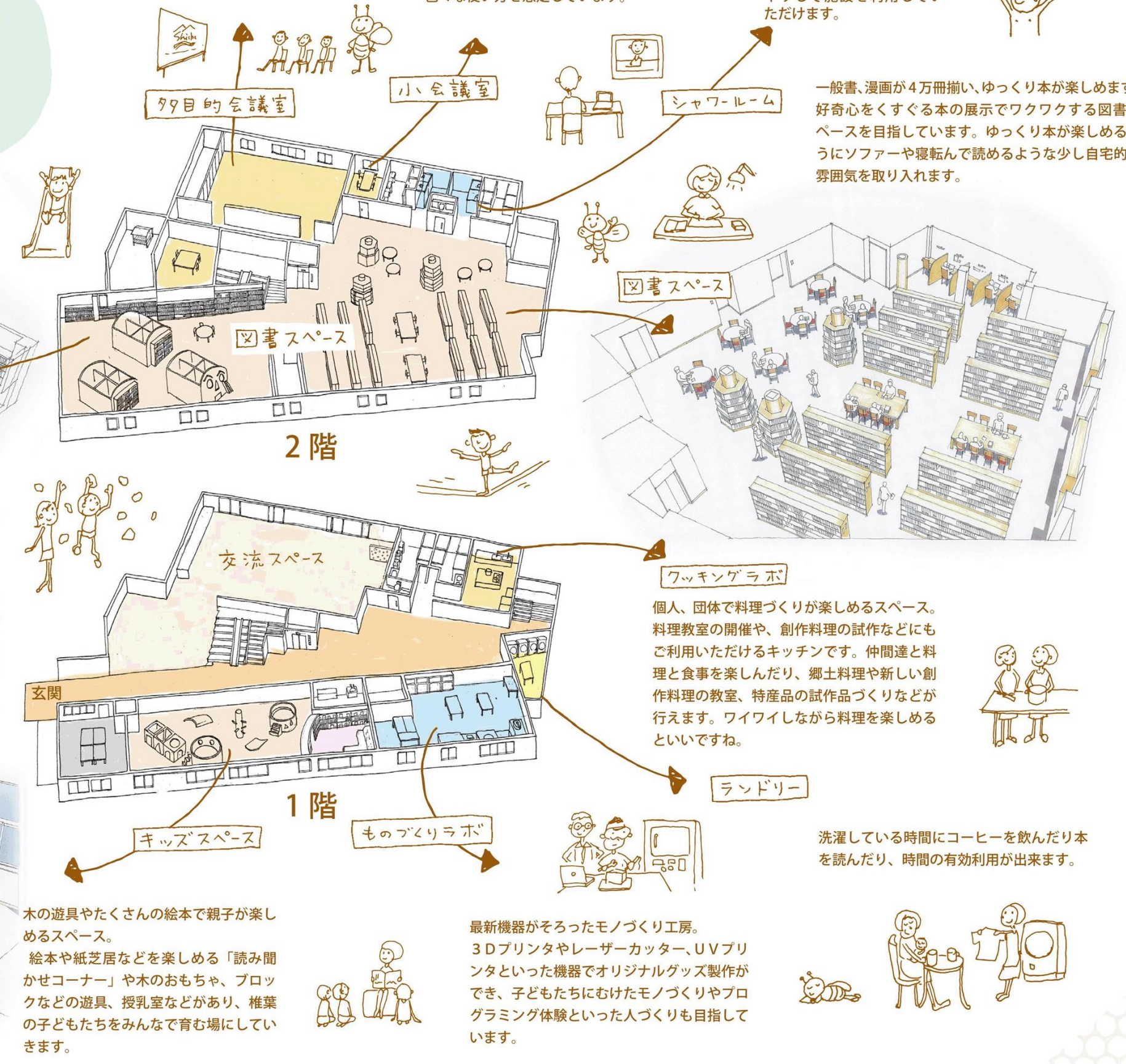
一般書、漫画が4万冊揃い、ゆっくり本が楽しめます。好奇心をくすぐる本の展示でワクワクする図書スペースを目指しています。ゆっくり本が楽しめるようにソファや寝転んで読めるような少し自宅的な雰囲気を取り入れます。

お茶やお話しを楽しんだり、ちょっとしたイベントをやったりと自由な使い方が楽しめるフリースペース。ボルダリングやスラックラインも楽しめます。友達とお話ししたり、ボルダリングや外の公園で遊ぶ子どもたちを見ながらゆっくり過ごしてください。

木の遊具やたくさんの絵本で親子が楽しめるスペース。
絵本や紙芝居などを楽しめる「読み聞かせコーナー」や木のおもちゃ、ブロックなどの遊具、授乳室などがあり、椎葉の子どもたちをみんなで育む場になっています。

最新機器がそろったモノづくり工房。
3Dプリンタやレーザーカッター、UVプリンタといった機器でオリジナルグッズ製作ができ、子どもたちにむけたモノづくりやプログラミング体験といった人づくりも目指しています。

洗濯している時間にコーヒーを飲んだり本を読んだり、時間の有効利用が出来ます。



※施設内の机や本棚などの配置は実際のものとは異なっている部分があります。